



「高度人材育成博士フェローシップ」 説明会

学生支援課
高度人材育成博士フェローシップ事務
(cps2.f.app@jim.titech.ac.jp)

令和4年6月3日

主にお伝えしたいこと

- 経済支援の内容
- 学修プログラムの内容
- 提出する報告書

文科省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」

博士課程に進学する優秀な人材の確保のための処遇向上とキャリアパス支援

- 2021年2月 「科学技術イノベーション創出に向けた・・・創設事業」東工大採択決定
- 2021年4月 春期フェローシップ学生募集 - 採択者30名決定
- 2021年10月 秋期フェローシップ学生募集 - 採択者10名決定
- 2021年12月 文科省からSPRING事業「越境型プログラム」との運用の一部統合が案内
- 2022年3月 学振特別研究員採択により6名が辞退し、繰上りで新たに6名採択
- 2022年4月 春期フェローシップ学生募集 - 採択者28名決定

フェローシップ制度や学修プログラムの設計・運用、フェローシップ採
択学生の選考を行う

委員長	情報理工学院	教授	三宅美博
	理学院	教授	河野正規
	工学院	教授	山口雅浩
	物質理工学院	教授	北本仁孝
	生命理工学院	教授	伊藤武彦
外部委員	環境・社会理工学院	教授	木内 豪
	蔵前工業会	理事	藤田玲子

(支援期間：最長3年間)

- 研究専念支援金

- 月額15万円（年額180万円）
- 毎月21日振込（銀行休業日の場合は前日以前で休業日でない直近の日）
- 初回のみ6月に3ヶ月分（4～6月分）支給

- 研究費

- 年額30万円
- 研究室に配分。予算詳細責任者は指導教員

- 授業料免除

- 研究費は実績報告が必要であり、その執行内容は本事業の検査対象となりますので、事業内容に即した執行に努めてください
- 購入した物品等は、大学所有となります
- 当年度中に納品・完了する物品・役務、旅費等请使用してください
- 学会参加費については学会開催年度が支出予算年度となるように執行してください
- 執行残が生じた場合は、文部科学省に返還になります
- 年度末に執行が集中することのないよう、計画的に執行願います（できれば2月末までに執行すること）
- 他の経費と合算して執行することも可能です

- 研究計画を踏まえて研究活動に専念すること
- 学修プログラムの各項目を実施（計画的に）
- 業績報告書、面談報告書を年2回提出（8月末、2月末）
- 最も近い時期の学振特別研究員募集に応募する
 - 来年度必ず応募をお願いします

学修プログラム（１） - 研究力向上 -

- コンソーシアムを通じた研究力向上
 - 所属する学院が指定する研究会やセミナー等に在学中1回以上参加する
- 教育プログラム **科目リスト**
 - 「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」の修了要件に沿って科目を履修
- メンターによる共同指導
 - アカデミックアドバイザー(AA)* 制度の中で、主および副AA教員との面談を年に2回以上実施する
 - 基礎研究機構の若手助教との懇談会に在学中1回以上参加する
- 英語プレゼンテーション教育 **科目リスト**
 - 所属する学院が指定するアカデミックプレゼンテーション関係の教育プログラムに在学中1回以上参加する

“所属する学院が指定する” => フェローシップガイドや科目リストを参照

* 主AA: 指導教員、副AA: 異なる研究室の教員 <= 教務Webシステムで確認のこと

学修プログラム（２） - キャリアパス支援、その他 -

- コンソーシアムを通じたキャリアパス形成（在学中にどちらか1回以上）
 - 蔵前工業会（本学同窓会）における「Dr's K-meet」に参加する
 - 所属する学院が主催するキャリアフォーラム等に参加する
- 研究インターンシップ（在学中にどちらか1回以上）
 - 所属する学院が指定するインターンシップ関係の教育プログラムに参加する [科目リスト](#)
 - 博士フェローシップ事務局がインターンシップマッチング等に個別に対応する
- キャリア教育（在学中にどちらか1回以上）
 - 体系的なキャリア教育科目を履修する [科目リスト](#)
 - 実践AIデータサイエンスA~Cを履修する [科目リスト](#)
- 博士課程の魅力発信
 - 系・コース・研究室などで開催するセミナー等で修士課程以下の学生に対し博士課程における研究活動の魅力を年に1回以上発信

- 必ず年2回実績報告書(様式1)と面談報告書(様式3)を提出のこと
 - 実績報告書 ... 実績、計画を記入して進捗管理
 - 面談報告書 ... 主AA, 副AAと3人同席（Zoom可）で面談を行い、報告書を主AAから事務(cps2.f.app@jim.titech.ac.jp)へ送付
- 各実施項目(科目履修以外)については、セミナー, 研究会等の報告書(様式2)を提出のこと
 - Zoom開催などイベント責任者の署名が難しい場合は指導教員の署名でも可
 - 提出は随時可（例. イベント直後、実績報告書提出時、等）

- 計画的に学修プログラムを実施していただくために以下のように達成の目安を設定しています

実施項目 フェローシップ在籍期間	0.5年	1年	1.5年	2年	2.5年	3年
【研1】コンソーシアムを通じた研究力向上 【研4】英語プレゼンテーション	どちらか1項目			2項目とも		
【研2】教育プログラム	1科目	3科目	4科目	5科目	7科目	8科目
【研3】AAとの面談	1回	1回	1回	1回	1回	1回
【キ1】コンソーシアム形成によるキャリアパス支援 【キ2】研究インターンシップ 【キ3】キャリア教育	うち1項目			うち2項目		3項目
【その他1】博士課程の魅力発信	年に1回以上		年に1回以上		年に1回以上	
学修プログラム等報告書の提出	1回	1回	1回	1回	1回	1回

留学など一定期間実施できない場合もありますのでご自身の学業スケジュールに合わせて計画してください

- 確定申告
 - 研究専念支援金は雑所得として扱われるため確定申告をする必要があります (2~3月ごろ)
- 倫理教育受講 => 7月頃ご案内します
 - 研究倫理教育(研究活動に関する教育) e-APRINを受講
 - コンプライアンス教育 (本学「公正な研究活動のための研修会」) を受講
 - 研究費を適正に使用することについての誓約書を提出

- 問い合わせ先（いつでもご連絡ください）
 - 高度人材育成博士フェローシップ事務（織田、川井）
 - cps2.f.app@jim.titech.ac.jp
 - 内線 7649

- 不定期にご案内メールをお送りします

例)

(フェローシップ事務局からのご案内/message from fellowship office)卓越教育院とDr's K-meetの情報

(English message follows.)

(bcc：でお送りしております)

フェローシップ学生の皆様、お世話になっております。フェローシップ事務織田です。

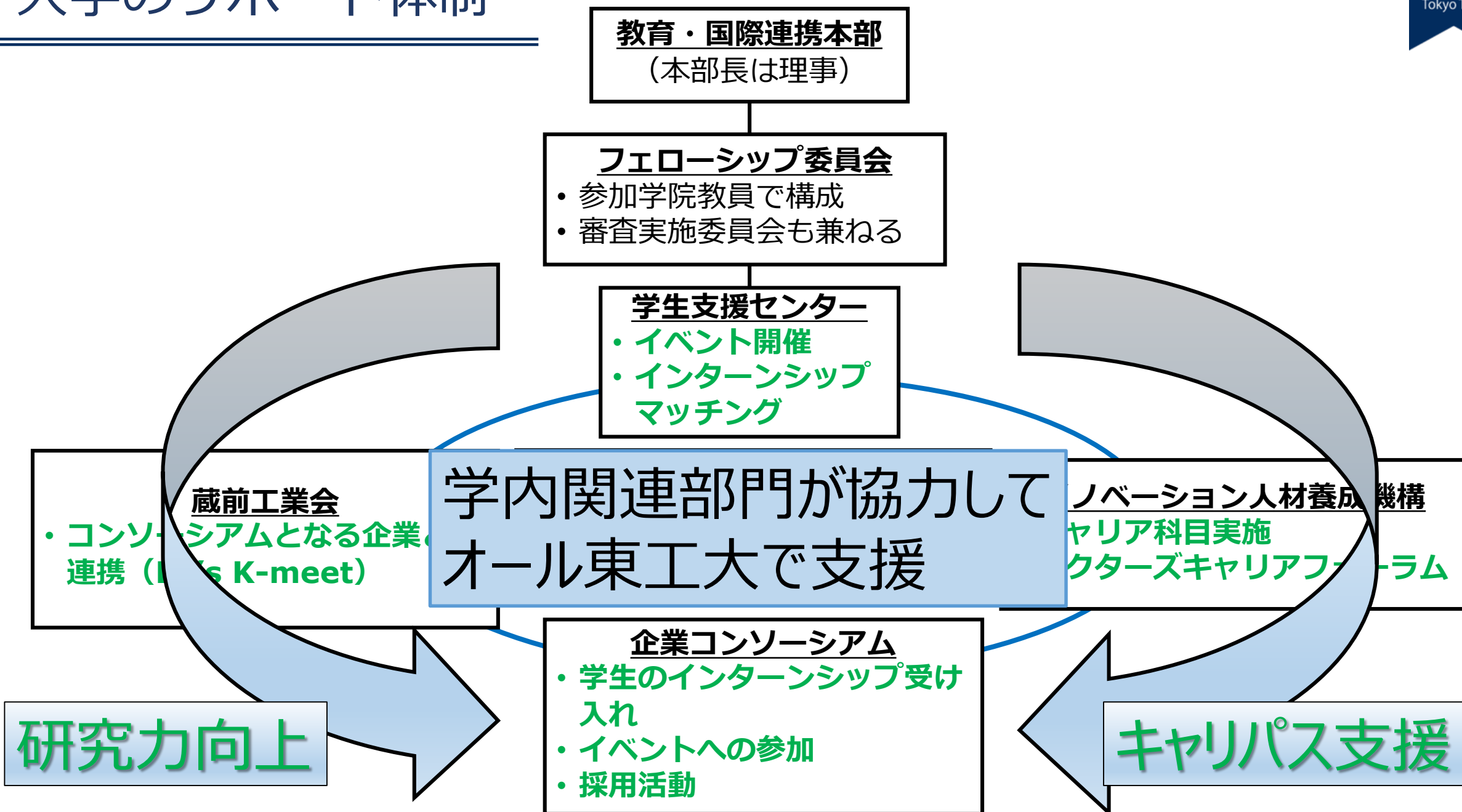
フェローシップの学修プログラムでは、「コンソーシアムを通じた研究力向上」のため幾つかの学院において卓越教育院のイベントへの参加を求めています。以下に現時点でわかっている卓越教育院のイベント情報をお知らせします。また、蔵前工業会主催のDr's K-meetについてもお知らせします。

...

ご注意いただきたいこと

- 期限までに報告書が提出されなかった場合給付を停止します
 - 以下の場合、フェローシップを辞退することになります
 - 学振の特別研究員に採択された場合
 - 休学*や退学した場合
 - やむを得ない事情がなく義務を履行しなかった場合
 - 辞退の申し出があった場合
- など
- ➡ 学修プログラムの達成が十分でない場合、辞退後に実施をお願いすることがあります

* 出産、育児又は傷病等の理由による場合は取り消さず一時停止





Tokyo Tech

ありがとうございました。

